

# 宗教意識調査

— 山 口 管 区 —

## 檀信徒後継者

### 実態調査アンケート

## 集 計 報 告

日蓮宗山口県教化センター

### は じ め に

このアンケート調査は第一回（S 61, 6, 29）の調査に引き継いで、第二回目の調査を行ったものです。

今回は、管内寺院のうち山陰と山陽の2ヶ寺を選んで、それぞれの寺院の檀徒の姿とその後継者の実態を調査したものです。調査方法は、各寺院の檀徒全戸に調査用紙を送り、教化センターの事務局へ回答用紙を郵送してもらったものです。

調査項目の不十分な点もあり、全体像を充分につかみ取ることができませんでした。しかし、今後の教化活動と寺院経営の参考にはなると思います。

なお、この調査は昭和62年9月10日～11月30日の間に行ったものです。

## 檀信徒後継者実態調査アンケート

ご回答は、必要事項に記入または○印をつけ、同封の封筒に入れて、投函してください。回答用紙や封筒には、お名前を記入しなくて結構です。

### 回収集計数

	山陰 A 寺	山陰 B 寺	合 計
調 査 数	70	250	320
回 収 数	46	164	210
回 収 率	65.71%	65.60%	65.63%

### 山陰A寺 回収数

回収数46 65.71%	未回収数24 34.29%
-----------------	------------------

### 山陽B寺 回収数

回収数164 65.60%	未回収数86 34.40%
------------------	------------------

## 調査の回収について

山陰A寺は70戸の調査に対し46戸の回答があり、山陽B寺は250戸の調査に対し164戸の回答がありました。この回答数を%で見ますと、帯グラフのとおり65.71%と65.60%と回収率はほとんど同数になっています。

1ヶ寺を構成する檀徒の全体像は、山陰・山陽・檀徒の多少にかかわらず同じ傾向を示しているといえます。日常の教化活動のなかで、檀徒の66%ぐらいまでは寺院との関係を密にし、住職も把握しているが、あとの34%は充分に手がとどいていないというところであろうか。この数値は既成教団の実態と言えるかもし

れません。

この66%は高い数値と言えるのか、低いと見るべきであろうか？ いずれにしても、残る34%の檀徒を、今後どう把握・教化していくかが問題であろう。

1. まずあなたの性別・年齢をお知らせください。

◎性別： イ. 男性      ロ. 女性

1の性別の集計

	山陰 A 寺 46		山陽 B 寺 164		合計 210	
性別	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ 男性	32	70%	77	47%	109	52%
ロ 女性	13	28%	84	51%	97	46%
ハ 無回答	1	2%	3	2%	4	2%

山陰A寺 回答者の性別の集計

男性 32 70%	女性 13 28%	← 無回答 1 2%
--------------	--------------	---------------

山陽B寺 回答者の性別の集計

男性 77 47%	女性 84 51%	← 無回答 3 2%
--------------	--------------	---------------

## 回答者の性別について

山陽寺院に比べ、山陰寺院の方が男性の回答者が圧倒的に多いのは、男性中心の昔ながらの風習が強く残っていると見て良いのであろうか。

信仰やお寺のことは、女性やお年寄りに任せるといふ既成教団の風潮に対し、約半数または70%の男性が回答を寄せてくださったことは、頼もしく思います。

◎年齢： イ. 30代    ロ. 40代    ハ. 50代    ニ. 60代    ホ. 70代  
           ヘ. 80代

1の年齢別集計

	山陰 A 寺 46		山陽 B 寺 164		合計 210	
年代別	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 30代	1	2%	10	6%	11	5%
ロ. 40代	7	15%	18	11%	25	12%
ハ. 50代	15	33%	33	20%	48	23%
ニ. 60代	15	33%	47	29%	62	30%
ホ. 70代	8	17%	43	26%	51	24%
ヘ. 80代	0	0%	11	7%	11	5%
無回答	0	0%	2	1%	2	1%

山陰A寺 回答者の年齢別の集計

A	40代	50代	60代	70代
2%	15%	33%	33%	17%

80代 0%  
 無回答 0%  
 A : 30代

山陽B寺 回答者の年齢別の集計

30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
6%	11%	20%	29%	26%	7%	← 1%

## 回答者の年齢別について

仏壇を持ち葬式や法事を行う檀徒は、比較的高齢になるのはやむをえまい。30代・40代の人達は親任せになり、自ら回答する人は少ないであろう。いずれにせよ寺と檀徒の関係は葬式・法事でのつながりであり、高年齢になるのは止むを得ないであろう。

2. あなたをふくめて、同居の御家族の人数をお知らせください。

◎家族の人数は（ 名）です。

家族構成人数の集計

	山陰 A 寺 46		山陽 B 寺 164		合 計 210	
家族数	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1 人	0	0%	19	12%	19	9%
2 人	14	30%	34	21%	48	23%
3 人	6	13%	28	17%	34	16%
4 人	10	22%	19	12%	29	14%
5 人	5	11%	28	17%	33	16%
6 人	4	9%	19	12%	23	11%
7 人	2	4%	10	6%	12	6%
8 人	1	2%	0	0%	1	1%
無回答	4	9%	7	3%	11	5%

山陰A寺 家族構成の集計

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	無	8人
0%	30%	13%	22%	11%	9%	4%	9%	2%

山陽B寺 家族構成の集計

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	無	8人
12%	21%	17%	12%	17%	12%	6%	3%	0%

## 同居の家族について

山陰A寺は若い人達が都市に出て働き、高齢者は家に残っているという、農村部の状況がよくうかがえる。山陽B寺でも一般に言われる核家族化が進んでいる

と見るべきであろう。

このような状況が予測されたので、今回の調査が行われたのである。このような状況の中で親から子供への信仰の相続はどのようにされているであろうか。今後の調査研究課題である。

◎その内訳は、20歳以下（ 名） 21～40歳（ 名）  
41～60歳（ 名） 61歳以上（ 名）

#### 家族構成の人数の集計

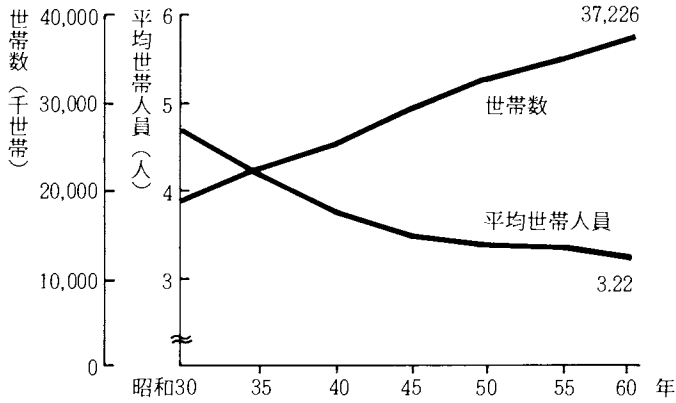
	山陰 A 寺 168		山陽 B 寺 569		合 計 737	
年齢構成	回答数	%	回答数	%	回答数	%
0～20歳	38	23%	123	22%	161	22%
21～40歳	36	21%	149	26%	185	25%
41～60歳	50	30%	132	23%	182	25%
61歳以上	44	26%	165	29%	209	28%

### 家族構成について

下の参考資料に見られるように、九州・山口では全国平均より高齢者の割合が高い。今回の調査でも見られるように檀徒の高齢化が進んでいる。今後、この対策も考えていかねばならない。

\*\*\*\*\* 参考資料 \*\*\*\*\*

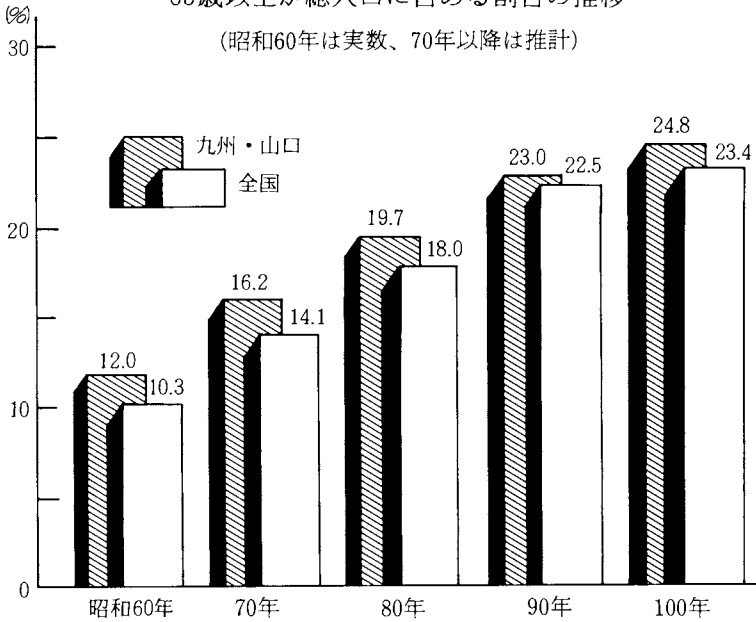
世帯数と平均世帯人員の推移



昭和60年「厚生行政基礎調査」より

65歳以上が総人口に占める割合の推移

(昭和60年は実数、70年以降は推計)



六十二年度九州経済白書

3. あなたの、あととりはどこにおられますか。

- イ. あととりはいない。
- ロ. いっしょに暮らしている。
- ハ. 近所で別居している。
- ニ. 山口県内で暮らしている。
- ホ. 近県で暮らしている。
- ヘ. 関西または関東で暮らしている。
- ト. その他のところで暮らしている。

	山陰 A 寺 46		山陽 B 寺 177		合 計 223	
あととり	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. いない	1	2%	13	7%	14	6%
ロ. 同居	23	50%	84	48%	107	48%
ハ. 近所	1	2%	35	20%	36	16%
ニ. 県内	7	15%	15	9%	22	10%
ホ. 近県	1	2%	6	3%	7	3%
ヘ. 関西関東	8	18%	22	12%	30	14%
ト. その他	5	11%	2	1%	7	3%

山陰A寺 後継者の居住地の集計

A 2%	同居 50%	B 2%	県内 15%	C 2%	関西東 18%	その他 11%
---------	-----------	---------	-----------	---------	------------	------------

A いない  
B 近所  
C 近県

山陽B寺 後継者の居住地の集計

A 7%	同居 48%	近所 20%	県内 9%	B 3%	関西東 12%	←
---------	-----------	-----------	----------	---------	------------	---

A いない  
B 近県  
その他 1%



## 後継者について

山陰A寺・山陽B寺とも、後継者との同居は約半数である。将来、檀家が半数になるということでもあるまいが、寺に日常参詣する人はかなり少なくなることが予測される。

山陽B寺は、同居・近所に住んでいる人も入れれば68%あり、県内も加えれば77%となりまだ安心できる。

しかし、山陰A寺では、若い人達の働く場所がないため、親と同居したり近くに住むことができず、遠い都市で暮らしているのが現状である。これらは将来の寺院経営には大きな問題である。農村寺院檀徒の20%~30%の減少は覚悟しなければならぬ。

又、今日の時点で大切なことは、遠くに働きに出ている若い後継者への教化活動の方策を考え実行していくことである。

4. あなたのあととりは、お題目の信仰を引き継いでくれると思いますか。

イ. 引き続き今のお寺で、信仰を引き継いでくれると思う。

ロ. お寺は変わるかも知れないが、信仰は引き継いでくれると思う。

ハ. お題目の信仰を引き継いでくれるかどうか分からない。

ニ. すでに別の信仰に入っているから、私とは別の信仰に入ると思う。

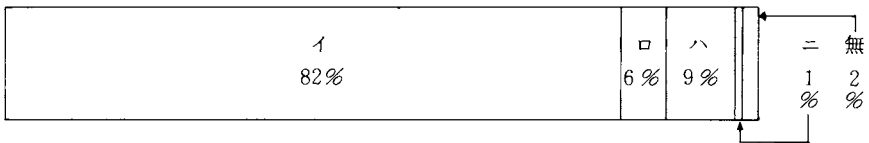
## 信仰後継者の集計

項 目	山陰 A 寺 46		山陽 B 寺 164		合 計 210	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 同寺引継ぎ	43	94%	135	82%	178	84%
ロ. 変寺引継ぎ	2	4%	10	6%	12	6%
ハ. 分からない	1	2%	15	9%	16	7%
ニ. 他信仰入り	0	0%	1	1%	1	1%
無 回 答	0	0%	3	2%	3	2%

### 山陰A寺信仰後継者の集計



### 山陽B寺信仰後継者の集計



## 信仰の相続について

山陰A寺・山陽B寺ともに良く教化活動が進められ、後継者が信仰を相続してくれるだろうと思う親が圧倒的に多い。しかし、これはあくまでも親の希望であり、若い人達の意識とはずれが在るかも知れない。

山陰の農村部では、家の宗教が変わることはあまりないと思われるが、山陽の町の方では〈分からない〉が約10%あり、山陰と山陽の違いが現れている。

5. あなたのあととり以外の子供は、お題目の信仰を引き継いでくれると思いますか。

- イ. 引き続き今のお寺で、信仰を引き継いでくれると思う。
- ロ. お寺は変わるかも知れないが、信仰を引き継いでくれると思う。
- ハ. お題目の信仰を引き継いでくれるか、どうか分からない。
- ニ. すでに別の信仰に入っているから、私とは別の信仰に入ると思う。

あととり以外の集計

項 目	山陰A寺 46		山陽B寺 164		合 計 210	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 同寺引継ぎ	18	38%	66	40%	84	40%
ロ. 変寺引継ぎ	10	22%	25	15%	35	17%
ハ. 分からない	10	22%	34	21%	44	21%
ニ. 他信仰入り	4	9%	8	5%	12	5%
無 回 答	4	9%	31	19%	35	17%

山陰A寺 あととり以外の子供の信仰の集計

イ	ロ	ハ	ニ	無
38%	22%	22%	9%	9%

山陽B寺 あととり以外の子供の集計

イ	ロ	ハ	ニ	無
40%	15%	21%	5%	19%

## 後継者以外の子供の信仰

これらの人達は、分家して新たに檀徒となる人達である。このあととり以外の子供に対する教化活動を今後充分に進めていく必要がある。未信徒教化も大切で

あるが、もっと大切なのはこのあととり以外の子供の教化である。寺と檀徒との連絡を密にして、教化の方策を話し合っていくことが大切であろう。今後の研究課題である。

6. あなたのおうちの仏壇に、お参りしているのはどなたですか。

- イ. 毎日、家族みんな、お参りする。
- ロ. 毎日ではないが、家族みんな、お参りする。
- ハ. 私達はお参りするが、子供達はほとんどお参りしない。
- ニ. 忙しくてほとんどお参りしていない。

家族の信仰生活の集計

項 目	山 陰 A 寺 46		山 陽 B 寺 164		合 計 210	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 毎 日 皆	27	59%	72	44%	99	47%
ロ. 時 々 皆	10	21%	48	29%	58	28%
ハ. 私 達 だ け	9	20%	42	26%	51	24%
ニ. 参 ら な い	0	0%	0	0%	0	0%
無 回 答	0	0%	2	1%	2	1%

山陰A寺 家族の信仰生活の集計

イ 59%	ロ 21%	ハ 20%	ニ 0%	無 0%
----------	----------	----------	---------	---------

山陽B寺 家族の信仰生活の集計

イ 44%	ロ 29%	ハ 26%	ニ 0%	無 1%
----------	----------	----------	---------	---------

## 家族の信仰生活について

山陰A寺・B寺ともに檀徒の教化が良くなされている。しかし、ここでもくハ、私達だけ）お参りするが、20%・26%となっており、若い人達・子供達への教化活動が必要な事が現れている。

7. あなたは自分のお寺の年中行事に、どの位お参りしますか。

- イ. 欠かさず、お参りします。
- ロ. だいたい、お参りします。
- ハ. ほとんど、お参りしません。

### お寺への参拝の状況の調査

項 目	山 陰 A 寺 47		山 陽 B 寺 164		合 計 211	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 欠かさず	21	45%	25	15%	46	22%
ロ. だいたい	18	38%	95	58%	113	53%
ハ. 参らない	8	17%	43	26%	51	24%
無 回 答	0	0%	1	1%	1	1%

### 山陰A寺 参拝状況の集計

イ 45%	ロ 38%	ハ 17%	無 0%
----------	----------	----------	---------

### 山陽B寺 参拝状況の集計

イ 15%	ロ 58%	ハ 26%	無 1%
----------	----------	----------	---------

## お寺への参詣について

両寺とも、お寺にはよくお参りしている様子である。〈ハ、参らない〉の17%・26%は、檀徒の遠隔化が進んでいるせいとも思われる。しかし、今回の調査の回収率の内、34%が未回収であった。この34%の人達はお参りしているのだろうか。お寺とのつながりはどの程度であろうか考えてみる必要がある。

8. お寺や住職に、特に希望する順番に、番号をつけてください。

- ( ) 葬式や法事など先祖の供養をしてもらうこと。
- ( ) みんなと一緒に身延山や池上などの霊跡参拝をしたい。
- ( ) 説教など仏教の教えを、分かりやすく教えてもらうこと。
- ( ) 若い人にもお題目の信仰を教えてほしい。
- ( ) 人生の苦しみ悩みの相談と解決をしてもらいたい。
- ( ) お経の練習や、お題目の修行がしたい。
- ( ) 林間学校など、子供の情操教育をしてもらいたい。
- ( ) その他 どうぞ具体的に書いてください。

### 山陰A寺 46

項 目	回答数	1 番	2 番	3 番	4 番	5 番	6 番	7 番
葬式法事	36	32	1	1	2	0	0	0
霊跡参拝	32	2	9	4	3	5	3	6
説教法話	33	5	16	8	3	1	0	0
若い人に	31	0	5	12	9	4	1	0
人生相談	28	1	4	5	7	7	4	0
お経修行	24	1	1	3	3	8	6	2
子供情操	18	0	0	1	2	2	3	10
その 他	5							

山陽B寺 164

項目	回答数	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
葬式法事	134	124	2	0	3	3	0	2
霊跡参拝	59	4	5	6	4	10	18	12
説教法話	81	8	47	13	6	3	4	0
若い人に	74	8	15	24	13	8	4	2
人生相談	61	3	9	11	16	11	4	7
お経修行	54	0	7	11	11	13	9	3
子供情操	48	2	5	9	6	1	10	15
その他	5							

総合 210

項目	回答数	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
葬式法事	170	156	3	1	5	3	0	2
霊跡参拝	91	6	14	10	7	15	21	18
説教法話	114	13	63	21	9	4	4	0
若い人に	105	8	20	36	22	12	5	2
人生相談	89	4	13	16	23	18	8	7
お経修行	78	1	8	14	14	21	15	5
子供情操	66	2	5	10	8	3	13	25
その他	10							

## お寺や住職に希望すること

檀徒にとって、お寺や住職に希望することは、やはり葬式・法事・説教法話であり、順当な数字であろう。そして、これを若い人達に伝えてほしいというのが、檀徒の大多数の希望である。

前回の調査（S61.6.29）と比較しても、ほぼ似たような結果である。又、こ

れらは住職が日ごろ一生懸命にやっていることがそのまま出ていることでもある。ただ若い人・後継者への信仰の相続を、どのように進めていくかが一番の問題であろう。

今回の調査で、回答をもらえなかった34%の人達が何を考えどのような期待をもっているのか知りたいものである。

9. あなたは日蓮宗の総本山、身延山に参ったことがありますか。

イ. ある。(何回ぐらい 回)

ロ. ない。—— そのわけは ——

イ. ひまがない      ロ. 経費がかかる      ハ. 機会がない

ニ. 関心がない      ホ. その他

本山へ参詣状況の調査

	山陰 A 寺 48		山陽 B 寺 144		合 計 192	
身延参拝	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. 有る	25	52%	63	44%	88	46%
ロ. ない	23	48%	81	56%	104	54%

山陰 A 寺 本山へ参詣状況の集計

イ. 有る 52%	ロ. ない 48%
--------------	--------------

山陽 B 寺 本山へ参詣状況の集計

イ. 有る 44%	ロ. ない 56%
--------------	--------------



イ. ある。と答えた人の内訳

参拝回数	山陰 A 寺 25		山陽 B 寺 63		合計 88	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
あ. 1 回	6	24%	20	32%	26	30%
い. 2 回	9	36%	19	30%	28	32%
う. 3 回	4	16%	8	12%	12	14%
え. 4 回	2	8%	3	5%	5	5%
お. 5 回	1	4%	5	8%	6	7%
か. 6 回	2	8%	3	5%	5	5%
き. 7 回	1	4%	5	8%	6	7%

山陰A寺 〈有る〉と答えた人の回数の集計

1回 24%	2回 36%	3回 16%	4回 8%	5回 4%	6回 8%	7回 4%
-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------

山陽B寺 〈有る〉と答えた人の回数の集計

1回 32%	2回 30%	3回 12%	4回 5%	5回 8%	6回 5%	7回 8%
-----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------

ロ. ないと答えた人の内訳

項目	山陰 A 寺 23		山陽 B 寺 81		合計 104	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
イ. ひま	4	17%	18	22%	22	21%
ロ. 経費	2	9%	16	20%	18	17%
ハ. 機会	11	48%	25	31%	36	35%
ニ. 関心	1	4%	4	5%	5	5%
ホ. その他	3	13%	13	16%	16	15%
無回答	2	9%	5	6%	7	7%

山陰 A 寺 〈ない〉と答えた人の理由の集計

イ 17%	ロ 9%	ハ 48%	ニ 4%	ホ 13%	無 9%
----------	---------	----------	---------	----------	---------

山陽 B 寺 〈ない〉と答えた人の理由の集計

イ 22%	ロ 20%	ハ 31%	ニ 5%	ホ 16%	無 6%
----------	----------	----------	---------	----------	---------

## 本山参詣について

身延山へ参ったことがあると答えた人が、約半数になっており、これを多いと見るか少ないと見るかは、その寺院住職の教化方針によって変わってくると思います。

お寺の檀徒であると同時に、宗門の檀徒としての自覚を高めるためにも、本山への参詣者の数値を高める必要があると思います。又、この調査の未回収34%の人々も、おそらく本山への参詣者は少ないだろうと予測される。

本山へ参ったことがないと答えた人達も、ほとんどの人達が機会や暇がないと答えております。今後の住職の教化活動によっては、檀徒総登山が実現しそうである。その為には、団参をもっと形を変え、時期を変え、対象を変えて活発に行う必要がある。

## おわりに

今回の調査にあたって、山陰A寺・山陽B寺のご住職・檀徒の皆様には、大変お世話になり有り難うございました。

二ヶ寺の例であり、また不十分な調査ではありますが、おぼろげながら寺院檀徒の全体像を把握することができました。宗門の宗勢調査と比較しながら読んで戴きたいと思います。

この調査で見ますと、今後檀徒の数の減少は必然的で有り、目前であることがはっきりしています。

新たな檀徒の獲得は、寺院存亡にかかわる重大事であり、同時に現存の檀徒の再教育とともに、後継者と分家していく子供達に対する教化活動を、いますぐ始めなければなりません。

管内での、お題目総弘通運動の目標が見えてきたように思います。



へ. 関西または関東で暮らしている。

ト. その他のところで暮らしている。

4. あなたのあととりは、お題目の信仰を引き継いでくれると思いますか。

イ. 引き続き今のお寺で、信仰を引き継いでくれると思う。

ロ. お寺は変わるかも知れないが、信仰を引き継いでくれると思う。

ハ. お題目の信仰を引き継いでくれるか、どうか分からない。

ニ. すでに別の信仰に入っているから、私とは別の信仰に入ると思う。

5. あなたのあととり以外の子供は、お題目の信仰を引き継いでくれると思いますか。

イ. 引き続き今のお寺で、信仰を引き継いでくれると思う。

ロ. お寺は変わるかも知れないが、信仰を引き継いでくれると思う。

ハ. お題目の信仰を引き継いでくれるか、どうか分からない。

ニ. すでに別の信仰に入っているから、私とは別の信仰に入ると思う。

6. あなたのおうちの仏壇に、お参りしているのはどなたですか。

イ. 毎日、家族みんな、お参りする。

ロ. 毎日ではないが、家族みんな、お参りする。

ハ. 私達はお参りするが、子供達はほとんどお参りしない。

ニ. 忙しくてほとんどお参りしていない。

7. あなたは自分のお寺の年中行事に、どの位お参りしますか。

イ. 欠かさず、お参りします。

ロ. だいたい、お参りします。

ハ. ほとんど、お参りしません。

8. お寺や住職に、特に希望する順番に、番号をつけてください。

- ( ) 葬式や法事など先祖の供養をしてもらうこと。
- ( ) みんなと一緒に身延山や池上などの霊跡参拝をしたい。
- ( ) 説教など仏教の教えを、分かりやすく教えてもらうこと。
- ( ) 若い人にもお題目の信仰を教えてほしい。
- ( ) 人生の苦しみ悩みの相談と解決をしてもらいたい。
- ( ) お経の練習や、お題目の修行がしたい。
- ( ) 林間学校など、子供の情操教育をしてもらいたい。
- ( ) その他 どうぞ具体的に書いてください。

( )

9. あなたは日蓮宗の総本山、身延山に参ったことがありますか。

イ. ある。(何回ぐらい 回)

ロ. ない。—— そのわけは ——

イ. ひまがない      ロ. 経費がかかる      ハ. 機会がない

ニ. 関心がない      ホ. その他

御協力ありがとうございました。